

令和2年度 事業計画（案）

令和2年度基本方針

平成28年度に策定したネットワークの今後の方向性に基づき、北上川流域の子供達が「地域で育ち、地域に貢献」する姿を目指し、下記の事業方針に基づき令和2年度事業を実施します。

事業方針1：社会情勢の変化に対応し、活躍できるものづくり人材の育成を支援します

産業構造の変化、第4次産業革命等の社会状況の変化に対応できる高度な技術と柔軟な発想を持ったものづくり人材を育成する事業を支援します。

また、会員の主体的活動の強化や会員拡大など、運営体制の充実を図ります。

1 高校・短大等対象事業

(1) 実技講習会【R2 計画：30回、R元 実績：37回】

工業高校生を対象とした資格取得に向けた実技講習会等を開催します。また、実技講習に必要となる講師指定の実習材料について補助します。

(2) 長期インターンシップ【R2 計画：高校6校 専攻科1校、R元 実績：高校6校 専攻科1校】

各工業系高校、黒沢尻工業高等学校専攻科で長期インターンシップ等を実施します。

(3) 地域高度技能人材育成支援事業【R2 計画：2名、R元 実績：2名】

黒沢尻工業高等学校専攻科に通学困難地域からの進学を促進するため、家賃等の補助を行います。また、黒沢尻工業高校と連携し、各工業高校に対して専攻科及び当事業のPR活動を実施します。

2 会員企業等対象事業

(1) ものづくりいわて塾の開催【R2 計画：1期6回、R元 実績：1期7回】

若手従業員を対象に、TPM活動の現場実践を通じてカイゼンへの気付きを学ぶこと、継続的な塾活動を通じて塾生同志の連帯感を醸成することを目的に、ものづくりいわて塾を開催します。なお、ものづくりいわて塾沿岸サテライトとの合同研修等により、切磋琢磨する意識を醸成します。また、塾生等のOB会を開催します。

(2) グループ勉強会「生産性向上のためのからくり改善勉強会」の開催

【R2 計画：初級編 1期3回、実践編 1期6回、R元 実績：1期6回】

「シンプル」、「手作り」、「ローコスト」なからくり改善を、基礎講座や工場見学、グループワークや実践により学びます。

R2年度からは、「初級編」と「実践編」に分けて実施し、参加者のレベルに合わせることで、内容の充実を図ります。

(3) 改善活動等のサミット・企業見学会の開催【R2 計画：1回、R元 実績：1回】

3S（整理、整頓、清掃）をはじめとした改善の取組事例を学び、生産性向上や人材育成を推進するため、サミットと企業見学会を開催します。企画・運営は会員企業等による実行委員会が行います。

事業方針2：いわての未来を担う人材育成を進めます

学生や児童生徒など、これからの地域を支える人材の育成とともに、教員の指導力向上や企業と学校の連携を促進し、将来の“ものづくり人材”の育成体制を強化します。

また、ネットワークの取組の情報発信を強化するとともに、県北・沿岸地域の工業高校生等の企業会員のPRを強化し、岩手県全体を視野に入れたものづくり人材の育成に力を入れます。

さらに、会員企業の従業員の技術力向上に向け、人材育成の取組を展開します。

1 小中学生対象事業

(1) 工場見学・出前授業支援【R2 計画：68回、R元 実績：68回】

小中学生の希望に応じ、見学先の調整や行程の作成、講師との調整及び学校への講師派遣などを行うとともに、工場見学について要する経費の補助と、企業が出前授業を行う際に必要となる材料費について支援します。

また、学校が工場見学や出前授業等を開催するにあたり、見学先や講師の選定をはじめとする運営全般について、学校からの相談対応を行います。

(2) ものづくり体験教室 in 工場【R2 計画：2回、R元 実績：4回】

小中学生を対象に、工場見学と工場でのものづくり体験教室を開催し、ものづくりの楽しさを感じてもらいと共に地域企業を知る機会を提供します。

(3) 小中学生ものづくり理解促進行事開催支援事業【R2 計画：12回、R元実績：11回】

団体会員、学校会員が、小中学生を対象としてもものづくりの理解促進等に係る事業を実施した場合、その経費の一部を補助します。

2 高校生・短大生等対象事業

(1) 工場見学・出前授業支援【R2 計画：45回、R元 実績：42回】

工業高校等の希望に応じ、見学先の調整や行程の作成、講師との調整及び学校への講師派遣などを行います。また、各工業高校で工場見学や出前授業を行います。

なお、今年度は黒沢尻工業高等学校専攻科の「地域産業」(出前授業)を、23回程度開催し、地域企業を知る機会を増やします。

R2年度は、岩手県産業技術短期大学校水沢校で実施する30周年記念事業に係る出前授業についても支援します。

(2) 花巻テクノフェアバス代補助【R2 計画：1回】

テクノフェア見学時のバス代を、花巻工業クラブ・花巻市で県内高校へ補助することとしているが、併せて北上川流域の企業を見学する場合にバス代が不足する場合、不足分を補助します。

3 指導者研修支援

(1) 実技講習会、講演会、アドバンスゼミ【R2 計画：4回、R元 実績：4回】

教員等を対象に企業講師による実技講習会や講演会、ベテラン教員から若手教員へノウハウを伝える勉強会を開催します。

(2) 企業見学会等支援【R2 計画：28回、R元 実績：30回】

小中学校の教員を対象としたキャリア教育研修会支援の他、小中高大学の教員を対象としたミニ企業見学会(現地集合・解散型見学会)を開催します。

4 保護者対象事業

(1) 会員企業の情報発信【R2 計画：4回、R元 実績：4回】

高校を会場とした企業ガイダンス(県南広域振興局事業)において、会員企業情報(いわて県南広域企業ガイド)を配布し、地域企業情報を発信するとともに、沿岸・県北の工業高校へも配布します。

5 会員企業対象事業

(1) グループ情報交換会の開催【R2 計画：3回、R元 実績：3回】

少人数による情報交換会を開催します。テーマは「採用力向上」の予定です。

(2) 情報発信

新たに立ち上げたホームページを活用し、ネットワークの活動、企業や学校の情報、ものづくり産業など、会員、小中学生、高校生、教員、保護者等のそれぞれのニーズに応じた情報を発信します。

事業方針3：県北・沿岸地域と連携したものづくり産業の発展を目指します

県北・沿岸地域のネットワークと連携しながら、県全体のものづくり産業の発展に向けた取組を進めます。

- ・ものづくりいわて塾沿岸サテライトと連携したいわて塾の実施(合同研修会の開催)【再掲】

- ・各種事業における県北・沿岸地域との連携
- ・県北・沿岸地域の工業高校等との情報交換、工場見学等支援

※各事業の実施時期は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から変更する可能性があること

令和2年度 事業計画

【小中学校等対象】

	単位	R2		R元		摘要
		計画	計画	実績		
(1) 工場見学・出前授業支援	回	68	68	68		
(2) 小中学生ものづくり理解促進行事開催支援	回	12	12	11		
(3) ものづくり体験教室 in 工場	回	2	2	4		

【高校・短大等対象】

	単位	R2		R元		摘要
		計画	計画	実績		
(1) 実技講習会等支援	回	30	30	37		
(2) 長期インターンシップ・モデル 3～5日間・工業高校2年	校	6	6	6		
2週間・専攻科1年	名	5	11	9		(R2専攻科1年生 5名)
1ヶ月・専攻科2年	名	-	-	-		(学生の自主活動となったため)
(3) 出前授業・工場見学支援	回	45	45	42		
(4) 地域高度技能人材育成支援事業	人	2	2	2		
(5) きたかみ・かねがさきテクノメッセバス代支援	回	-	1	-		
はなまきテクノフェアバス代支援	回	1	-	-		

【指導者対象】

	単位	R2		R元		摘要
		計画	計画	実績		
(1) 実技講習会・講演会・アドバンスゼミ	回	4	3	4		
企業見学会等 (小中教員含む)	回	28	28	30		
うちミニ見学会		(18)	(18)	(19)		

【保護者対象】

	単位	R2		R元		摘要
		計画	計画	実績		
(1) 会員企業の情報発信	回	4	3	4		生徒・保護者対象の企業見学会での 会員企業情報(企業ガイド)の提供

【会員企業等対象】

	単位	R2		R元		摘要
		計画	計画	実績		
(1) ものづくりいわて塾	期	1	1	1		
	回	6	7	7		
(2) いわて塾 OB会	回	1	2	1		
(3) 改善活動等のサミット、見学会	回	1	1	1		
(4) グループ勉強会	期	初級編 1	実践編 1	1	1	
	回	3	6	6	6	
(5) グループ情報交換会	回	3		2	3	

令和2年度 収支予算書(案)

【収入の部】

(単位:円)

	令和元年度 予算額	令和元年度 決算額	令和2年度 予算額	比較増減	摘 要
I 会費収入	4,530,000	4,560,000	4,500,000	△ 30,000	・150会員×@30,000円=4,500千円 ・会費納入義務会員150社
II 積立金繰戻	1,000,000	1,000,000	—	1,000,000	ホームページ制作費について積立 金から繰戻
III 利息収入	25	64	25	0	預金利息
IV 前期繰越金	1,736,965	1,736,965	1,716,247	△ 20,718	
v その他	0	6,200	0	0	
合 計	7,266,990	7,303,229	6,216,272	△ 1,050,718	

【支出の部】

(単位:円)

	令和元年度 予算額	令和元年度 決算額	令和2年度 予算額	比較増減	摘 要
I 事業費	6,260,000	4,729,479	5,330,000	△ 930,000	
(内訳)					
小中学生対象	1,550,000	1,248,123	1,650,000	100,000	小中学生を対象としたものづくり教育支 援事業
高校生・短大生等対象	1,380,000	749,095	1,470,000	90,000	・工業高校生等を対象とした技能取得支援等 ・工業高校教員を対象とした指導者研修支援等
会員企業等対象	1,300,000	1,033,147	1,450,000	150,000	会員企業を対象とした若手従業員等研 修支援
その他	460,000	202,234	460,000	0	総会開催経費
広報費	1,570,000	1,496,880	300,000	△ 1,270,000	・ホームページ管理費 ・チラシ印刷代等
II 事務費	650,000	606,843	300,000	△ 350,000	・運営委員会開催経費 ・郵送費 ・消耗品費等
III 予備費	106,990	0	336,272	229,282	
IV 積立	250,000	250,000	250,000	0	15周年記念事業(令和3年度予定) ※15周年記念事業:定期預金へ
合 計	7,266,990	5,586,322	6,216,272	△ 1,050,718	

令和2年度 収支予算内訳書(案)

【収入の部】

(単位:円)

	令和元年度 当初予算額	令和元年度 決算額	令和2年度 当初予算額	差額 (当初予算比)	摘 要
1 会費収入	4,530,000	4,560,000	4,500,000	△ 30,000	150会員×@30千円=4,500千円
2 積立金繰戻	1,000,000	1,000,000	-	1,000,000	ホームページ制作費について積立金から繰戻
3 利息収入	25	64	25	0	預金利息
4 前期繰越金	1,736,965	1,736,965	1,716,247	△ 20,718	
5 その他	0	6,200	0	0	
合 計(1～5)	7,266,990	7,303,229	6,216,272	△ 1,050,718	

【支出の部】

	令和元年度 当初予算額	令和元年度 決算額	令和2年度 当初予算額	差額 (当初予算比)	摘 要
I 事業費(1～5)	6,260,000	4,729,479	5,330,000	△ 930,000	
1 小中学生等対象	1,550,000	1,248,123	1,650,000	100,000	
(1) 工場見学・出前授業支援事業	600,000	576,500	700,000	100,000	・30校に対し補助 ・出前授業の材料費
(2) ものづくり体験教室支援事業	100,000	70,832	100,000	0	工場で行う小学生ものづくり体験教室に対する支援
(3) 小中学生ものづくり理解促進事業開催費補助	850,000	600,791	850,000	0	団体会員、学校会員が行う小中学生向けものづくり体験事業の支援
2 高校生・短大生等対象	1,380,000	749,095	1,470,000	90,000	
(1) 実技講習会等支援事業	420,000	185,395	330,000	△ 90,000	実技講習支援等330千円
(2) 長期インターンシップモデル事業	0	0	0	0	ゼロ予算
(3) 出前授業・工場見学支援事業	300,000	26,700	300,000	0	黒工専攻科企業見学会200千円、高校・専攻科講座・出前授業100千円
(4) 指導者研修支援事業	100,000	0	100,000	0	アドバンスゼミ材料費、講師旅費等
(5) 保護者等対象事業	320,000	297,000	400,000	80,000	企業情報ガイダンス資料代等 (参加生徒数増が見込まれるため増)
(6) 地域高度技能人材育成支援事業	240,000	240,000	340,000	100,000	・遠隔地住居支援等10千円/人月×12か月×2人=240千円 ・工業高校へのPR代(運搬費用等) 100千円
3 会員企業等対象	1,300,000	1,033,147	1,450,000	150,000	
(1) 若手従業員等研修支援事業	1,300,000	1,033,147	1,450,000	150,000	いわて塾・OB会700千円、3Sサミット300千円 グループ勉強会400千円、グループ情報交換会50千円
4 その他	460,000	202,234	460,000	0	
(1) ネットワーク総会費	260,000	202,234	260,000	0	会場費160千円、講師100千円
(2) はなまきテクノフェアバス代支援 (R元年度はきたかみ・かねがさき テクノッセ)	200,000	0	200,000	0	バス代補助
5 広報費	1,570,000	1,496,880	300,000	△ 1,270,000	
(1) 広報費	1,570,000	1,496,880	300,000	△ 1,270,000	ホームページ管理費、チラシ印刷代等
II 事務費	650,000	606,843	300,000	△ 350,000	運営委員会経費、郵送料、消耗品代、旅費等
III 予備費	106,990	0	336,272	229,282	
IV 積立	250,000	250,000	250,000	0	15周年記念大会積立金250千円
合 計(I～IV)	7,266,990	5,586,322	6,216,272	△ 1,050,718	

令和2年度 積立金収支計画書(案)

(単位:円)

	令和2年度 収入	令和2年度 支出	摘 要
I 繰越金	750,064	-	令和元年度からの繰越
II 一般会計より繰入	250,000	0	15周年記念事業積立分
III 一般会計へ繰り出し	0	0	
IV 預金利息	15	0	
合 計	1,000,079	0	

収入合計 1,000,079 円 - 支出合計 0 円 = 差引残額 1,000,079 円

差引残額は、次年度に繰り越すものとする。

◆ 積立金の内容

- 1 15周年記念事業 750,000 円(平成29年度よりネットワーク15周年記念事業準備目的で積立)
2 預金利息 79 円